

図表 1-1 対インド援助政策の評価の枠組み

評価対象：インド国別援助方針（1997～2001）			
評価の視点	評価項目・基準		情報源、収集方法
I. 国別援助方針の内容	<p>●内容の妥当性 インド国別援助方針はその上位概念である ODA 大綱及び ODA 中期政策やインドの開発ニーズに合致しているか。 (参考) 他ドナーの援助政策とわが国の国別援助方針の比較。</p>	<p>●ODA大綱(1992年閣議決定)との関連度合い ODA大綱の内容にどの程度整合しているか。 ●ODA中期政策との関連度合い ODA中期政策の内容にどの程度整合しているか。 ●被援助国の開発ニーズとの関連度合い 被援助国開発計画などにどの程度合致しているか（97～01年の間の国別援助方針とインドの開発計画を比較。我が国への要請案件を検証）。</p>	<p>●文献 ・ ODA 大綱 ・ ODA 中期政策 ・ インド第 9 次 5 ヶ年開発計画 ・ その他インド関連資料 ・ CG 会合など協議資料 ・ 他ドナーの対インド援助政策 ●ヒアリング ・ 外務省 ・ インド政府 ・ 他ドナー</p>
II. 国別援助方針の効果	<p>●結果の有効性 過去 5 年間にどのような実績があったのかをインプット及びアウトプットベースで検証する。 可能ならば、これらのアウトプットが重点分野毎の主要指標にどのような影響を与えたのかについても検証する。 (参考) インドの主要指標、各セクター毎の主要指標の州別データを収集し、これらの指標の動向を把握する。</p>	<p>●重点分野ごとのインプット及びアウトプット実績 国別援助方針に規定されている重点分野において、どの程度のインプット及びアウトプット実績があるのか（州別のデータを調べる）。 (可能ならば) ●重点分野毎の主要指標への影響 これらのアウトプットが重点分野の主要指標にどの程度影響を与えたのか。</p>	<p>●文献 ・ ODA 白書、国別データブック ・ JICA、JBIC の年次報告書 ・ 個別案件完了報告書 ・ アジア経済研究所統計資料 ・ インド政府統計資料 ・ 国際機関等の統計資料 ●ヒアリング ・ インド政府 ・ 外務省 ・ JICA ・ JBIC</p>
I. 及び II. の結果必要と認められる場合は以下を検証			
III. 国別援助方針のプロセス (方針策定及び実施プロセス)	<p>●プロセスの適切性 国別援助方針の策定及び実施プロセスにわが国 ODA の上位政策（大綱、中期政策）に書かれている留意事項が反映されているか。相手国のニーズを把握し、国別援助方針を適切に策定・実施し、それを検証するような取り組みが行われているか。</p>	<p>●策定・実施プロセスにおける協議の有無 被援助国のニーズを正確に把握するために、被援助国、政府内、実施機関、NGO を含む民間、他ドナーとの情報交換・協議が行われているか。 ●検証システムの有無 国別援助方針の実施状況を検証するための評価体制が整備されているか。</p>	<p>●文献 ・ CG 会合など協議資料 ●ヒアリング ・ インド政府 ・ 外務省 ・ JICA ・ JBIC ・ 他ドナー</p>